

医療現場も崩壊の危機

「残業月300時間、過労死」 勤務医遺族、賠償求め提訴 水戸

水戸済生会総合病院（水戸市）に勤務していた男性医師（当時47歳）が死したのは、過重労働が原因として、遺族が病院を運営する社会福祉法人恩賜財団済生会を相手取り、約2億2000万円の損害賠償を求める訴訟を水戸地裁に起こした。死亡前の時間外労働は月300時間近く上っていたとされている。9日に第一回口頭弁論があり、被告側は姿勢を明らかにしなかった。訴状によると、男性医師は2000年4月から同病院の消化器内科に勤務。14年11月15日午後2時15分ごろ、病院内のソファで、うつぶせに倒れて死亡していたのを発見された。死因は不詳だったが、原告側は「死因は急性心筋梗塞あるいは心停止とみられ、過重労働が原因」と主張している。水戸労働基準

で問題はない」「社内での労働は入退場記録に残ることから、報告書やデータのまとめ等、社外でも可能な仕事はノートパソコンを家に持ち帰らせて、休日も作業するように上司より強要された」。

「二〇一六年六月までが休職期間である。それまでに復職できない場合は解雇する」と連絡された。三菱電機労働組合は会社とユニオンシヨップ協定を結んでおり、強制的に全員加入となっており、それで「休職期間を延長してもらいたい」と会社に掛け合ってもらえるよう労組に求めた。しかし、委員長は「規則は規則である、休職期間の延長は難しい。がんば

別組合で団体交渉

今、よこはまシティユニオンに加入し、会社と団体交渉も行っている。「東京の本社前や神奈川の事業所の近くでピラを配り、会社の労務管理を改善するよう演説した。：現在はわざわざ本社の中から会社前まで降りてきて、他の同僚に配るために、ピラを一枚でなく数枚もらっていく社員も出た。他の社員にとっても関心事となっている」。

二〇一六年六月一五日、三菱電機より解雇される。十一月二四日

毎日新聞
2017.11.10

監督署は16年4月に労災認定している。男性医師は通常の勤務に加え、午後5時5分前9時の当直と、休日の午前9時午後5時の日直がそれぞれ月1回あり、救急患者や入院患者を診察。茨城県内の独立行政法人の産業医として月数回の勤務も割り当てられていた。30分以内で駆け付けられるよう待機する「オンコール」と呼ばれる担当も月5回あり、しばしば夜間に呼び出されて病院内のソファで寝泊まりしていたという。

また、入院患者への対応などで事実上休日出勤が強制されており、14年の完全な休日は夏休みの5日程度だったとしている。

毎日新聞の取材に対して、同病院は「現時点ではコメントできない」としている。

【加藤栄】

労基署が労災を認定する。一方、会社のその年五月での回答は「指導の範囲を逸脱した叱責・罵倒の事実を認められなかった」「勤続年数等を加味しても業務内容及び量が過度なものであるとの事実は認められなかった」と言うものである。しかし本人は「ユニオンよこはまに加入し行動することで、労災を勝ち取り、労務管理を一部改善させた」と報告をまとめています。

この被災者は現在三〇歳を超えていますが、今年の九月には、「三菱電機を両親提訴」という新聞記事が目飛び込んできました。

記事には「東北地方に住む両親が二七日、同社に総額約一億一八〇〇万円の損害賠償を求めて東京地裁に提訴した」とあります。この被災者も国立大の大学院博士前期課程終了後に、昨年四月三菱電機に入社（二五歳）、六月にここ尼崎市のソフトウェア製造技術課に配属されました。

報道によると母親は十一月七日の朝、息子さんが三田市の社員寮で首を吊ったことを寮母から電話で知らされたそうです。遺書には「私は三菱につぶされました」と記されていたとのこと。訴状では大学院時代の専門分野とちがいで、「男性が配属さ

この尼崎でも...

高齢者を雇うということ

81歳の労働者の労災死亡です。もしうちのおやじだったら…と胸を締めつけられる読者もおられるかもしれません。

81歳までとは言わなくても確かに職場で働く高齢者は増えています。駅に行けば、必ずエスカレーターの手すりにおつかまり下さいとアナウンスされます。将棋倒しでひっくり返ったらえらいこと。工場内では、小さな段差のあるところやちょっと滑りやすそうな所にも必ず注意を促すポスターがあり、階段には手すりを持つよう指示する標識が貼られています。

なんで高齢者を雇うんですか？おんなじ仕事してもらっても役職者をヒラにできる、賃金をがばっと減らせる、「賞与」なんかいらん、辞めてもらいやすい、とにかく若いもんが足らん分をはるかに安い高齢者でまかなうんやから、これで儲からんかったらウソや。

れた部署では高いプログラミング技術が求められたが上司や先輩に質問しても教えてもらえず、非難されたりばかにされたりした」としています。（神戸）

三菱電機の労働組合はつい最近までとは言いませんが、それでもそう遠くない前まで労組出身の社会党（現社民党）市会議員や県会議員を送り出していました。今ごろ何ぬかしとんねんと言われそうですが、尼崎市民にとっても馴染みのある会社です。その職場の間関係がズタズタに壊されているのかと思うと本当につらい。ストレスチェックなんかわざわざするまでもなく、原因はわかっているてなまを大事に思える職場、働きたいのある職場を取り戻すしかないのです。

はねられた労働者 81歳

警備員の男性 はねられ死亡 中央区

大型トラックに

2日前午前7時20分ごろ、中央区港島5の運送会社「大海運輸」の敷地で、走行中の大型トラックが、警備員戸田年さん(81)に垂水区舞子坂3IIをはねた。戸田さんは全身を強く打ち、死亡した。

神戸水上署によると、戸田さんは駐車場に入ってくる別のトラックを誘導中で、戸田さんをはねたトラックは敷地内の駐車スペースを出たところだった。同署によると、トラックを運転していた男性は「人がいるのに気がつかなかった」と話しており、業務上過失致死の疑いで事情を聴く。

一七・一一・一三 神戸